支援方針

1)個性によりそうチーム力
目の前の子に何をしてあげられるかを考え、1人1人を「特別扱い」して自己肯定感を育んでいます。

2)自立によりそう支援力
特性をもった子どもたちの長所を伸ばし、苦手を工夫や支えで補強し、ご家族と共にスモールステップで将来の自立を達成します。

3)未来によりそう責任力
子どもたちの「今」を支えるだけでなく、10年、15年後の「未来」にも責任を持てるよう変化するライフステージの課題に対応しています。

アルクミライ　支援理念：①子どもたちと同じ景色を見る。
②目の前の困りごとを見逃さない。

放課後等デイサービス
アルクミライ
おおのじょう

営業時間：平日　10:00～19:00
：休校日　9:00～18:00

健康状態

【健康・生活】・看護師や理学療法士、言語聴覚士などの医療機関経験者在籍の強み
アルクミライでは日々の体調管理の他、感染症予防やその対策を医療機関経験者が支えています。
また、活動と休息のバランスを身につけ、心身の健康を維持する為の生活習慣の基礎を築きます。

心身機能・構造

活動

参加

【運動・感覚】

・近隣の公園や体育館を活用し、楽しみながらしっかり身体を動かします。
・各種スポーツ活動を通して運動機能と視覚・聴覚などの感覚統合の向上を図っていきます。

【認知・行動】

・認知行動療法(CBT)
宿題やお手伝い、新たな挑戦などの適応行動にシールが貰え、シールがたまるとガチャガチャが引けるコインと交換できるトークンエコノミーをシステム化しており、小さな成功体験を積み重ね、少しずつ目標に向かって歩んでいきます。

・視覚的構造化プログラム(TEACCH)
目で見てスケジュールを把握できるようにホワイトボードで提示したり、タイムタイマーを使って活動時間を把握できるようにし、自分がどう行動すべきか考えて動くことで自立を促します。

【言語・コミュニケーション】

・絵しりとり、連想ゲームなどを通して語学力や表現力を育みます。
・命に関わるネガティブな言葉は使わないよう約束します。

・戸外活動
子どもたちがやりたいこと、行きたい場所を全力でサポートしています。アルクミライでは、戸外活動にも力を入れており、初めての経験を体験することで、場所や場面に応じた困りごとへの工夫と対処を共に経験できるように取り組んでいます。

【人間関係・社会性】

・社会生活技能訓練(SST)
学校や日常生活の中で、対人トラブルや困難に直面した際、情報の適切な『受信』『処理』『発信』ができるように、支援者と共に個別的に振り返り、工夫を重ね、サポートします。

・応用行動分析(ABA)・ペアレントトレーニング
児童の不適切行動に対して、それを個人の責任とせずに環境の問題とすることで共に工夫を積み重ね、寄り添いながら代替行動を見出しています。適応行動が行えた際は、それを褒めることで自信を持って行動できるよう促します。経緯・結果をご家族と共有し、学校や家庭で実践することで全般的な行動改善を図ります。

個人因子

＜体験・経験（行事等）＞
・1人ひとりの特性・興味・関心に基づいて活動を行います。
・得意や強みを自分のためだけでなく、他者のためにつかうことの大切さや、自分の不得意を他者に助けてもらうコミュニケーション技術を習得します。人との繋がり（社会）の中で自立するための得意と不得意を補い合いを学びます。

環境因子

＜家族支援＞
・ご家庭内で起こっている出来事や、ご家族の希望も大切にしながら、児童ひとりひとりに合った支援方針を組み立てます。
・子供たちの自由な発想や言動をしばりかねない事業所内のルール設定は最小限に抑え、自由な人間関係の中の生身の感情体験から自身の課題や交友関係の維持の難しさを学び、次の対処行動を支援者と共に工夫していく個別療育環境を大切にしています。

＜移行支援＞
・就労に向けた社会性・協調性・コミュニケーション能力の向上に努め、本人の希望や得意を活かせる就職先を共に考え、事業所等の見学にも同行します。

＜地域支援・連携＞
・町内祭りのポスター作成、竈門神社風鈴奉納など地域の行事に参加し、社会貢献の意欲を高めています。
・地域の福祉事業所や行政機関と連携し、必要な援助を受けられるよう支援します。

＜職員の質の向上＞
・定期的な事業所内外の職員研修の受講、各分野の資格保有者による専門的な社内ミーティングを行い、スキルアップと知識の共有に努めています。